

# **SGEC 分別・表示事業体審査報告書**

**肥後木材株式会社**

平成 2 1 年 1 2 月

**(社) 全国林業改良普及協会**

## 目 次

### I . 肥後木材株式会社の概要

### II . 審査経過・写真

### III . 審査における判定事由書

## I. 肥後木材株式会社の概要

1. 申請者名称 肥後木材株式会社  
代表取締役 佐藤 耕三  
(所在地) 熊本県熊本市平山町 2986-11
2. 認定事業体 肥後木材株式会社  
○本社 : 熊本県熊本市平山町 2986-11  
○人吉支店 : 熊本県球磨郡相良村深水 2500 番地 3
3. 事業内容 市売り業務(製品・素材)、プレカット業務、  
木材・建材等の仕入れ販売
4. 認定対象業種 素材及び木材製品販売、プレカット加工

### 5. 沿革・概要

肥後木材株式会社は、昭和 33 年の創業以来、国産スギ、ヒノキ素材及び製品の九州地区における流通拠点の一つとして活動を続けている木材(素材・製品)市売市場であり、平成 10 年からは、材木店、大工・工務店向けのプレカット事業にも取り組んでいる。

熊本市に本社をおき、球磨郡の人吉支店と 2 カ所の市場で取り扱う木材量は、素材原木で 10 万 m<sup>3</sup>/年、製品で 5 万 m<sup>3</sup>/年に達している。

同社の木材集荷圏は、地元熊本県内を中心に、大分県、宮崎県、鹿児島県に広がっており、特に人吉支店の所在する球磨川流域は、熊本県における SGEC 森林認証の一大拠点となってきた地域である。

また、同社は、平成 19 年 3 月に SGEC 認定統合事業体を取得した「くまもと森林認証住宅ネットワーク『小国杉の家』(会長：佐藤耕三社長)」の事務局として、県内小国町産の SGEC 認証材の産直住宅事業の中核でもある。

今回の SGEC 事業体認定個別取得の取組は、SGEC 森林認証の取り組みが熊本県内全域で進んできていることから、人吉支店も含めた全社的取組を上記ネットワークと並行して進め、川上・川下の木材流通の接点となる木材市場として、県産 SGEC 認証材の適正な分別・表示と流通の一翼を担おうとするものである。

### 【肥後木材株式会社の概要】

創 業 : 昭和 33 年 1 月

## ○本 社

所在地 : 本市平山町 2986-11  
従業員 : 役員 5 名・社員 42 名  
保有施設等 : 敷地 52,598 m<sup>2</sup>、事務所 1,117 m<sup>2</sup>、倉庫・工場 11,550 m<sup>2</sup>  
木材選別機 1 レーン、フォークリフト 15 台  
年間取扱高 : (素材) 47,740 m<sup>3</sup>  
(20 年度) (製品) 41,730 m<sup>3</sup>  
(プレカット製品) 12,635 m<sup>3</sup> (加工能力/月産約 3,000 坪)

## ○人吉支店

所在地 : 球磨郡相良村深水 2500 番地 3  
従業員 : 役員 1 名・社員 28 名  
保有施設等 : 敷地 81,079 m<sup>2</sup>、事務所 439、工場・倉庫 4,039 m<sup>2</sup>  
木材選別機 2 レーン、フォークリフト 9 台  
年間取扱高 : (素材) 56,340 m<sup>3</sup>  
(20 年度) (製品) 5,370 m<sup>3</sup>  
(プレカット製品) 2,165 m<sup>3</sup> (加工能力/月産約 1,000 坪)

## 【会社の沿革】

昭和 33 年 1 月 熊本市春竹町八王寺 133 番地に、初代社長・佐藤利一郎が資本金 550 万円にて、肥後木材(株)を創立、木材市売業を開始。  
昭和 33 年 12 月 第 2 代社長佐藤徳郎就任  
昭和 49 年 11 月 資本金を 2200 万円に増資  
平成元年 5 月 第 2 代社長・佐藤徳郎が代表取締役会長に、第 3 代社長に佐藤耕三がそれぞれ就任  
平成 4 年 9 月 現在地(熊本市平山町)・熊本木材工業団地に新社屋を建設落成、本社機能と製品市場業務(全敷地 15,900 坪)をこの地に移す。  
平成 9 年 4 月 システム流通事業部発足  
平成 10 年 3 月 創業 40 周年を迎え、特別市開催。  
平成 10 年 7 月 同年 1 月より着工のシステム流通事業部プレカット機械(AZ-1000)、付帯施設の工場落成。  
平成 13 年 1 月 全国で始めてマイクロ波による大型乾燥機を導入。  
平成 15 年 10 月 人吉木材市場(株)を清算し、人吉支店(呼称:肥後木材(株)人吉木材市場)とする。  
平成 18 年 8 月 肥後もりの家ネットワーク事業協同組合設立、続けて「くまもと森林認証住宅ネットワーク「小国杉の家」設立、それぞれ理事長、会長に佐藤耕三社長が就任  
平成 19 年 8 月 本社のプレカット機械を人吉支店に移設し、本社に新型プレカット機械(AZF-1500SLZ 他)を導入。工場・事務所を増・新築する。

## 5. 分別・表示管理体制

肥後木材株式会社(以後:同社)の本社及び支店には、分別に十分な面積の土場が確保されており、既に国有林材や合法認定材等を扱うための専用の「荷降ろし場所」及び「極積箇所(樹種別)」を準備している。(SGEC 認証材原木の極については、極札・掲示板などで表示する)

同社における分別・表示システムは、本社及び人吉支店各々での①原木市場における原木の入荷・選別・出荷、②製品市場における製材品等の入荷・保管・出荷、③プレカット事業における製材品の材料選別・加工・出荷の3部門である。

今後、認証林産物を本格的に扱うに際して「SGEC 認証森林から産出された林産物と、それ以外の林産物が受入、保管、加工、出荷の各過程で混在しないように全体を統括する「SGEC 認証林産物統括管理責任者」及び研修・内部検査・伝票など帳簿類の管理確認を行う「SGEC 認証林産物管理責任者」、本社・支店の各部門の分別・表示管理を担当する「分別・表示管理責任者」、「各現場担当者」を配置し、適正な分別・表示管理体制を確立する」ことを目的とした「認証林産物の分別・表示管理方針書」及び、各支店の「分別・表示管理体制」及び、素材(原木)、製品、プレカット材ごとの「SEGC 認証林産物生産出荷管理計画」を定め、分別・表示管理の徹底を図っている。なお、同社は、「くまもと森林認証住宅ネットワーク『小国杉の家』」の統合事業体事務局として、SGEC 認証材の産直住宅事業に取り組んできた実績があり、年次管理審査における分別管理状況に問題は指摘されていない。

### 【主な確認資料】

- ・ 肥後木材(株)会社案内(ハップレット)
- ・ 肥後木材株式会社 HP <http://www.uproad.ne.jp/higomoku/>
- ・ 肥後木材株式会社の沿革
- ・ 認証林産物の分別・表示管理方針書
- ・ SGEC 認定「製品・素材」管理体制図
- ・ SEGC 認証林産物生産出荷管理計画図(支店・部門ごと)
- ・ 認証材置き場配置図(本社・人吉支店)
- ・ 入荷管理表
- ・ 売上精算書並びに元落通知書
- ・ 合法性・持続可能性の証明に関わる事業者認定書(県木連)
- ・ 九州森林管理局資格確認通知書(素材流通業)
- ・ 国有林材(素材)の安定供給システム販売協定書

## II. 審査経過 ー肥後木材株式会社の審査経過

認定審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの児島裕、小邦徹、原山洋士の3名が下記のとおり行った。

### 【審査申込】

平成21年10月20日／審査申込

(内 容)

1. SGEC 分別・表示システム運営規程及び実施要領説明
2. 全林協の審査手順についての説明
3. 審査申込書の受付、関連資料の確認

### 【認定審査】

平成21年11月4日／書類確認及び現地確認

(場 所)

肥後木材株式会社本社事務所および土場・倉庫・工場  
人吉支社事務所および土場・倉庫・工場

(審査員)

(社)全国林業改良普及協会審査員 児島 裕  
専門審査員 小邦 徹  
専門審査員 原山洋士

(申請者)

肥後木材株式会社 代表取締役 佐藤耕三  
" システム流通事業部 上田尚史  
" 営業担当 佐藤圭一郎  
肥後木材株式会社 人吉支店長 日隈誠也

(内 容)

1. 提出された書類及び資料の説明を受け、修正事項等の確認を行った。
2. 同社事務所において事業の概要、現行の木材受入・選別・保管・プレカット加工・出荷における木材の流れ、および在庫管理の仕組み等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
3. 同社土場及び倉庫、工場において、認証林産物の生産・加工、出荷管理計画、分別・表示管理の体制等に基づいて、認証材専用置き場等の設置状況、保管、加工における作業手順等を確認した。
4. SGEC 分別・表示の考え方や管理方針、認証林産物の生産・出荷管理計画、分別・表示管理体制等について、追加事項説明を行うとともに遵守意志を確認した。

## 【審査判定】

平成 21 年 12 月 11 日／審査委員会

「認定審査」に基づいた審査結果を審査委員に報告し、審査判定を行った。

### (委員名)

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社専務取締役・農学博士	西村 勝美
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
(社)林木育種協会理事	真柴 孝司

### (事務局)

(社)全国林業改良普及協会 専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	宇佐美 均
同 認証審査センター	野田 昭一

### (内 容)

1. 現地確認審査の結果を報告するとともに、SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」における審査内容を説明した。
2. 提出資料、入荷・出荷管理の仕組み、審査判定表による判定の内容等から、審査委員会によって、申請者は認定に値する事業体であるものと認められた。

### Ⅲ. 肥後木材株式会社の審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき作成した、全林協「SGEC 事業体認定基準・指標」の 12 項目を審査要件とした。

これら「審査要件」に基づいて「審査判定」を行い、審査委員に諮ったところ、肥後木材株式会社は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

#### 【向上目標】

1. 認定取得後の内部監査を適正に行い、認証林産物のトレサビリティを確立すること。（基準 3 - 4）
2. 関係職員に対し、十分な教育・研修を図り、分別・表示管理方針書の趣旨を徹底すること。（基準 3 - 5）
3. 認証林産物の履歴証明に関わる帳票類の保存に努めること。（基準 3 - 6）